

UXプロジェクト基本構想（概要）

0. 背景

◎「第3の柱」の創出

- ・半導体・自動車関連産業の集積
- ・上記2つに続く「第3の柱」による50年、100年後を見据えた礎の形成

◎ライフサイエンス分野*に強みをもつ

- ・全国有数の農業県、豊富な天然資源
- ・医療・介護、農業従事者が多い
- ・ライフサイエンス関連企業・教育機関が多い

◎健康寿命の延伸

- ・全国トップクラスの平均寿命
- ・要支援・要介護者の割合が高い
- ・医師の地域偏在

◎若い人材の県外流出抑制

- ・全国トップクラスの出生率、15歳未満人口
- ・他方で、進学・就職を機に県外へ流出

◎持続可能な社会を目指す機運の高まり

- ・相次ぐ自然災害への適応
- ・新型コロナウイルス感染症への対応・克服
- ・「誰一人取り残さない」社会の実現

1. 実現する社会の将来像

自分らしく最期まで「健康で」「楽しく」「美しく」いられる生活の実現 ～大地の恵みを生かした社会的価値の追求～

スローガン

「健康で」

- 病気にならない県、くまもと！
（データを利用し、予防・未病対策
・メンタルヘルスケア
・フードテック

「楽しく」

- 農業を楽に・介護を楽にする県、くまもと！
（スマート農業、介護ロボット
・集積され続けるデータから、アイデアを
ビジネスに

「美しく」

- 日本一のビューティー県、くまもと！
（スキンケア
・豊かな水、食、自然で体内から
美しく生きる

2. 具体的な取組み

I プレーヤー ～多種多様な人材の集積・育成～

- ・明確なスローガンによる年齢・国籍を超えた、幅広い尖ったインフルエンサーやイノベーション人材の集積
- ・ベーシックサイエンスの若手研究者（ポスドク等）に対する手厚い支援
- ・教育機関、研究機関と連携したビジネスプロデューサーやデータサイエンティスト等の育成
- ・企業規模・タイミングを問わず、事業実施・起業支援を担う県内外企業の参画

II ネットワーク ～つなぐ・つながる機会の提供～

- ・県内外大学等の先端研究と県内外企業の高度な技術に巡り合える場の提供
- ・国内・海外のエコシステムと接続できるビジネス環境の整備
- ・イノベーション創出からビジネス展開までの段階に応じた県内外の連携パートナーの斡旋
- ・地元住民、地元学生、地元出身者との交流機会の提供

III コンテンツ ～持続的にビジネスを起こすしかけ～

- ・県内のみならず、県外も含めた産学官金から成る「チーム熊本」でビジネス創出を支援する「伴走型サポート体制」の構築
- ・オンライン等も活用したアイデアソン、ハッカソン等のイノベーション機会の提供
- ・県内外の金融機関・ベンチャーキャピタルとの連携を通じた、資金援助体制の構築

IV フィールド ～小さく始め、すぐに実証できる場の提供～

- ・各自治体との協力による規制にとらわれない広大な実証実験エリアの提供
- ・企業、教育機関、研究機関との連携による共同実証機会の提供

V データ ～ビジネスに結びつく様々なデータへのアクセスを確保～

- ・ローカル5Gエリア等の整備を通じた、ユーザー主導・参加型のデータ活用プラットフォームの構築
- ・行政、教育機関、研究機関等が保有する質の高いデータの提供
- ・登録ユーザーのみのアクセス制限、万全なセキュリティ対策の実施

VI 政策 ～行政による本気のサポート～

- ・大胆かつ柔軟な規制緩和等による多種多様な研究開発ニーズへの対応
- ・行政側の長期コミットメントによる協働体制の構築

VII ハコ ～リアルでクロスする場の提供～

- ・テクニカルパークを中心としたイノベーションハブの整備
- ・技術をクロスするためのコワーキングエリア、共同実験エリアの整備
- ・Funの充足！データ収集・活用も目的とした、FinTech・テクススポーツ・自動運転等の実装
- ・脱炭素社会に適応した、災害にも強いRE100ビジネス環境の整備
- ・雄大な阿蘇等でのワーケーションや質の高い初等・中等教育等の周辺環境を整備

知の集積

3. 短中期マイルストーン

全国からアントレプレナーが集い・生まれることによる賑わいの創出

4. 中長期マイルストーン

クロスして、ビジネスの持続的創出、エコシステム化

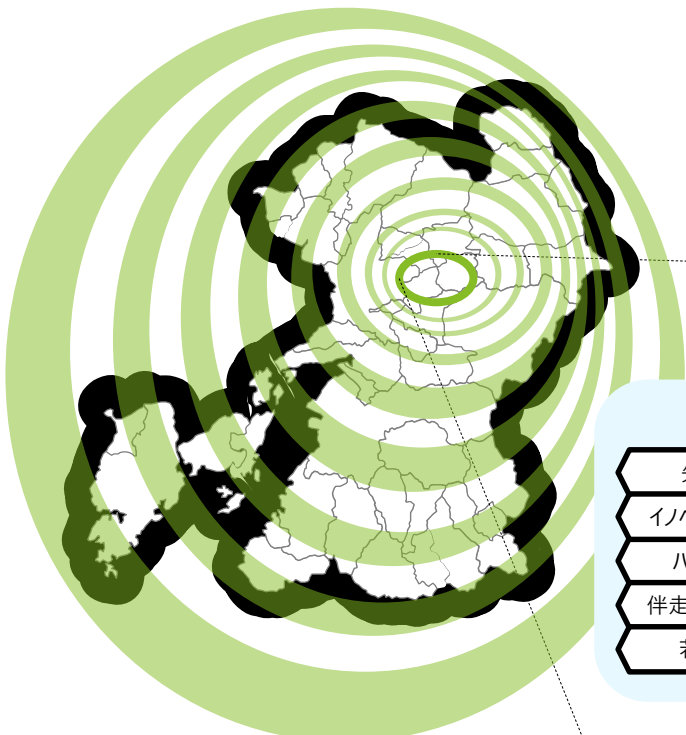
* 本プロジェクトにおけるライフサイエンス分野とは「医療」「介護」「健康」「食」「ビューティー」「スマート農業」等の分野を指す。

(別紙) UX プロジェクト グランドデザイン(イメージ)

- ・テクノロジーパーク周辺等を拠点とし、ソフト・ハード両面の様々な要素を整備する。
- ・この拠点と県内外の多くの市町村・団体とで連携した取組みを行い、県内各地の経済発展に繋げる。

県内外の多くの市町村・団体と連携した取組み (例)

規制緩和	研究シーズ連携	積極的データ提供	人材定住への支援
広大な実証実験エリア	開発シーズ連携	専門人材育成	地元住民等との交流
即応型共同実証PJT	研究開発連携	専門学生・リカレント	他地域ハブとのNW形成
ワーケーション	医療データ等連携	ベンチャー創出・支援等	他地域とのデータ連携



凡例

施設等名称

取組

ソフト要素 (例)

先鋭人材の集積	規制緩和
イノベーション人材の集積	即応型共同実証PJT
ハッカソン等イベント	地場企業とつながる機会
伴走型サポート体制構築	他地域ハブとのNW形成
若手研究者支援	連携パートナー斡旋

阿蘇くまもと空港

スローガン

テクノロジーパーク
周辺等

ハード要素 (例)

UXデータベース	自動運転交通システム
ローカル 5 G	FinTech
ハブ設立	テクノスポーツ
共同ラボ	RE100
宿泊機能	

